ASADA 通信

Vol. 104

2023年10月

～秀人のつぶやき～
ドラフト会議　2023年

皆様こんにちは！ ２ヶ月あっという間ですね～！こないだ８月号を作成したと思ったらもう10月号です。
月日が過ぎるのが年々早く感じております！ほんと早いっ！早い早い！
そしてもうこの10月号が皆様のお手元に届く頃は11月の初めだと思いますので、ということは、もう年末が迫ってきているぅぅぅ！あああ～！ということで、私のどうでも良い独り言はこのくらいにしまして、ようやく最近朝晩がだいぶ肌寒くなってきました。ただ日中はそれなりに暑い日もあり、やはり一年を通じて気温が高くなっている印象です。
ただここからどんどん寒くなってくると思いますので、その寒暖差に注意してお過ごしくださいませ。

さあ今号はいきなりですが『プロ野球ドラフト会議』をお伝えしてみたいと思います！

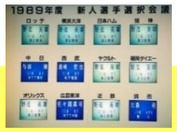
先日の10月26日、プロ野球ドラフト会議2023が開催されました。私、実は生まれも育ちも茨城県なのですが、何故か大の中日ドラゴンズファンでなのです。名古屋や愛知県に何のゆかりもありません！全く何も無い！なのに小学校低学年からずっとドラゴンズファンなのです。そんな愛すべきドラゴンズ、そしてプロ野球と長きに渡り携わってきた自分にとって、この『ドラフト会議』というものは、幼いころから大興奮の一大イベントなのです。中学の時、思わず友達と模擬ドラフト会議を２人で行ったこともありました。ちゃんとくじの箱まで作って。何故興奮するのか？
それはファンのチームへの思い入れと、そして“ドラマ”があるからです。

この『**ドラフト会議**』、正式名称ではありません。正しくは『**新人選手選択会議**』と言います。
そして指名をしたら入団が決定されるわけではありません。球団側とするとあくまでも入団交渉権の獲得、になりますので、不調に終わり入団しないケースもあるのです。
歴史に目を向けると、初めてのドラフト会議は1965年。この年が記念すべき第１回目。日本のプロ野球が誕生したのが1936年ですから、プロ野球が生まれて約30年後にドラフト会議が生まれたのです。それまでのドラフト制度が導入される以前は、新人選手の入団について明確なルールがなく、高い契約金を払う球団に有望選手は集結。当然、資金力豊富な球団に逸材は集まり、戦力の均等化が図られていない状態でした。同時に、金満球団にとっても、青天井になっていた契約金の高騰を抑制しなければ、今後は立ち行かなくなるという懸念もあり、双方の利害が一致し、当時西鉄の代表であった西亦次郎が中心となり、アメリカのプロ・フットボールのドラフト制にヒントを得て、その制度の採用を決めた大リーグに倣う形でドラフト制度は発足したのです。

～ドラフト史に残る数々のドラマ～

ドラフト会議には、とにかくドラマが多いです。社会問題と捉えられることも過去たくさんありました。
数々ありますが、有名なものとしてこんなものがありました。

『江川事件』～空白の１日～
長くなるので割愛して記しますが、あの江川卓。希望球団である巨人に入れなかったことから、巨人サイドが野球協約の盲点をつき、ドラフトを迎える前日に入団交渉、入団発表を行ってしまったという、プロ野球史上、ドラフト史上歴史に残る大事件。



『野茂英雄』
～ドラフト史上最多指名数～
メジャーリーガーのパイオニア的な存在の野茂投手。その野茂をドラフト１位で指名した球団はなんと！全球団の３分の２である８球団！当時の司会者であったパンチョ伊東の“ 野茂英雄 ”のアナウンスが鳴り響き続いた後、抽選で引き当てたのはなんと！最後の残りくじを引いた近鉄バファローズの仰木監督！

『KKコンビ ドラフト事件』
～PL学園の英雄二人の明暗～
PL学園高等学校の桑田真澄と清原和博は、1年生時からエースと4番としてそれぞれ活躍し、5回の全国大会出場のうち優勝が2回・準優勝が2回・ベスト4が1回という記録を残す。二人はKKコンビと呼ばれ、プロ野球ファンのみならず、世間の注目を大いに集めていた。そしてドラフト会議で、巨人に行きたかった清原に対し、それに応える形で指名をするかと思われていた巨人が指名したのは・・・早稲田大学進学を公表していた桑田であった！大粒の涙を流す清原。
そして後日、桑田は巨人に入団する。密約の噂、そして史上まれにみるドラマであった。

数々のドラマを生み出してきたドラフト会議。2023年の今年もドラマが。ドラフト１位で指名された選手のうち、その半数の６人が東都大学リーグのピッチャーだったという、東都旋風が巻き起こった歴史に残る会議でありました。

今月のテーマ

Ⅰ　藤井　将棋新時代を開く
　　史上初　将棋王座戦を制す

Ⅱ　将棋藤井聡太も受けていた…
　　やりたいことを叶える
　　「モンテッソーリ教育」
　　家庭でもできることは何か？

Ⅲ　秀人のつぶやき

想いをのせて　感謝　ありがとう

全国のラグビーファンを魅了したラグビー日本代表。
フランスで開催されたラグビーワールドカップ2023。
日本はその戦いをエベレストの登頂に例えて挑んだが、道半ばで敗れた。10月28日に行われる決勝戦。
残念ながら日本代表はその場にいない。
選手たちは今回のワールドカップの戦いを、標高8000メートル以上の高地「デスゾーン」に見立てて臨んだ。
酸素濃度が低い状態ではひとつの小さなミスが命取りになる。ラグビーを極限での登山に置き換え、強豪との戦いをイメージし練習をしてきた。

キャプテンの姫野選手は決勝トーナメントをかけた大一番のアルゼンチン戦を「死闘」と表現し、”笑わない男”稲垣啓太選手は「相手を殺すか、自分が死ぬかの2択だ」と覚悟を口にした。しかし強豪の壁は高かった。

ジェイミー・ジョセフヘッドコーチは「選手たちはこの4年間で最高のプレーをしたが残念ながら力を出し切って敗れた」と語った。

試合後の姫野選手のことばが印象的だった。
「アルゼンチンが僕たちを上回ったというシンプルな話だと思います。今回はエベレストの頂上に桜を咲かすことはできませんでしたが、自分たちのレガシー、文化、目標、夢というものは次に必ず受け継がれていくものだと思います。」
新型コロナウイルスの影響で代表活動がストップされ、試合回数は少なかった。
ヨーロッパのチームは、日本が活動できなかった時期にも試合を行うなど強化の面で差が出ていたことも事実であった。
ラグビーでは世界トップ層との対戦でしか得られないものがある。フィジカルの強さや試合の中でのギリギリの判断がその代表例だ。
日本は新型コロナウイルスの影響などで、その部分を磨く時間が十分に得られなかった。
2027年のワールドカップに向けて日本ラグビー協会はすでに動き出している。2024年イングランド代表と、10月にはニュージーランド代表との対戦が決まっている。
ニュージーランドやオーストラリア、それにイタリアのラグビー協会と相互の連携を深める覚書も結んだ。
今後定期的な対戦が行われる予定だ。
さらに、来年からは日本、アメリカ、カナダ、サモア、フィジー、トンガの6チームによる「パシフィックネーションズカップ」が開催されるほか、2026年には世界のトップ1・2のチームが参加する新しい国際大会が創設され、そこに日本が参加できる可能性が高い。
日本協会は、こうしたレベルの高い試合を数多く組んでいくとともに、トップチームの下での戦う機会も確保して、日本全体の底上げを図っていく方針だ。
W杯3位決定戦では、イングランドがアルゼンチンに競り勝ち銅メダルを獲得した。
パリ近郊のサンドニで決勝を迎えたW杯は10月28日に行われ、南アフリカがニュージーランドに12対11で競り勝って2大会連続4回目の優勝を果たした。単独最多である。
日本の沢山のファンに夢と希望と努力する姿を見せてくれた日本の選手に大きな拍手を!!!

サラリーマン川柳

リモートの　会議に映る　生活感

信頼と実績で皆様に愛されて36年！
生命保険・不動産の売却・買い取り　すべてお任せください！

Qualifying & Life Member MDRT®

株式会社オフィスASADA　代表取締役　麻田 春江

住所：〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28　E-mail：officeasada220@gmail.com
TEL：0297-72-2401　FAX:0297-72-6217　URL：https://officeasada.com

/ 藤井 将棋新時代を開く
史上初 将棋王座戦 制す

第71期将棋王座戦（日本経済新聞社主催、東海東京証券特別協賛）の五番勝負第4局が11日、京都市のウエスティン都ホテル京都で指され、午後8時59分、138手で後手の挑戦者、藤井聡太七冠(21) が永瀬拓矢王座(31) を破り、3勝1敗で王座のタイトルを奪取した。

藤井新王座は将棋界に8つあるタイトル全て（八冠）を同時に制覇する史上初の偉業を成し遂げた。

21歳の若き巨星が将棋界の新しい時代を切りひらいた。

藤井聡太七冠が11日の王座戦を制し、前人未到の全八冠を獲得した。

少年時代を知る恩師らは将棋への探求心を強さの源に挙げ、「日本の将棋史に名を刻む偉業だ」とたたえる。一時は劣勢に追い込まれながらの逆転劇に、地元愛知の将棋ファンも沸いた。

王座戦第4局で対局する藤井(左)
永瀬両棋士（11日、京都市東山区）

「負けました」午後9時前、永瀬拓矢王座が頭を下げると藤井新王座は礼を返して無言のまま盤上を見つめていた。
京都市のウェスティン都ホテル京都で行われていた第71期将棋王座戦五番勝負の第4局。
約12時間の激闘に終止符が打たれ、偉業が達成された瞬間だった。
対局直後の藤井八冠は「早い段階から激しい展開になり、夕食休憩のあたりでは、はっきり苦しいと感じていた」と振り返った。
八冠達成について尋ねられると、しばらく目を閉じて考え込み「見合った力があるかと思うとまだまだ。この経験を糧に実力をつけていかないと、と思った」と語った。

「今回も期待を裏切らない結果を残してくれた」。藤井八冠が通った将棋教室の塾長、文本力雄さん（68）はほほ笑んだ。

藤井八冠が将棋を始めたのは祖母に将棋盤を買ってもらった5歳のとき。

「もっとやりたい」と訴え、地元の愛知県瀬戸市にある文本さんの教室を祖母とともに訪れた。

当時の様子について、文本さんは「将棋の才能はずばぬけていた」と振り返る。入会の際に渡した約480ページの教本を1年ほどで暗記。教室独自の段級位制のもとで過去に例のない勢いで昇級した。

「将棋に対する探究心が誰よりも強い」。風呂のタイルを盤に見立てて研究し、幼稚園児のころから小学校高学年と対局を重ねたという。

大会では実力を発揮さえすれば勝てた。文本さんは「いつも通りにいこう」と声をかけていた。負ければ大泣きする負けず嫌いなところもあった。

将棋を離れれば、木登りが得意なやんちゃな少年だった。将棋教室が終わると周りの仲間とプロレスごっこを始めた。文本さんは「ごく普通の男の子の一面もあった」と思い返す。

文本さん(中央)から指導を受ける藤井八冠(左)
（２０１１年５月１８日
瀬戸市のふみもと子供将棋教室で）

// 将棋 藤井聡太も受けていた… やりたいことを叶える
「モンテッソーリ教育」 家庭でもできることは何か？

予測困難なことが多い今の時代、子どもの成長において何が大切なのかと悩む親は少なくはない。
どのような時代においても、赤ちゃんとして生まれた一人の子が「人間」として社会で生きていくことができるよう、**「自立すること」**が大変重要だ。
そういった子どもの**自立**を促すとして、ここ数年で注目を集めているのが**「モンテッソーリ教育」**だ。数日前に史上初の8冠を達成し大きな話題を集めている藤井聡太さんをはじめ、Googleの共同創業者セルゲイ・ブリンとラリー・ペイジ、Appleの創業者のスティーブ・ジョブスなど、さまざまな著名人が幼少期に受けていたというモンテッソーリ教育。果たして、どのような教育なのだろうか。そしてどのように**自立心**を育んでいくのか。

子どもが力を発揮できる環境を用意するモンテッソーリ教育

Q.モンテッソーリ教育はどのような教育ですか？

今から110年ほど前にイタリアで、**マリア・モンテッソーリ**という女性医師によってモンテッソーリ教育は築き上げられました。子どもを観察することによって確立された、科学的な教育法です。子どもには「自ら育つ力」があると考えています。モンテッソーリ教育の最終目標である**「自立」と「自律」**に向かって、子どもがエネルギーを最大限に発揮し、獲得すべき能力を適切な時期に獲得していけるよう、援助するのが私たち大人の役割です。
しかし、それは決して詰め込み式やしつけ、教え込みではなく、子どもが力を発揮できる環境を用意して、環境を通して育ちを助けていくことを重要視しています。

自立心を育むためにできるかかわりとは

Q.「自立心」を育むために家庭でできることはありますか？

自立心を育むために家庭でできることは多面的にありますが、今回はその中でも特に重要かつすぐ実践可能なかかわりについてポイントをご紹介します。かかわる時のポイントを意識するだけでも、子どもの「自立心」の育みを助けることに繋がります。ぜひ意識してみてください。

＊まずは子どもに選択権を渡しましょう 。

なんでも大人が決めてしまうのではなく、生活の中で子どもが自分で選択できるようにするのがおすすめです。
年齢が低い間は、今日着るTシャツを2枚用意し、その中からから選ぶというように、選択肢を示して選べるようにします。年齢が上がって5歳頃になると、家庭のルールなどを話し合って一緒に考えていくこともできます。

おうちでできるモンテッソーリ例

「やって」「こうして」の命令ではなく、「あなたは何をしたいの？」「どっちからやるの？」と選択できるように声をかける。【食べものを食べる時】「これを食べて」→「ごはんとお味噌汁、どっちから食べる？」
【片づけをする時】「自分で片づけて」→「ブロックと色鉛筆、どっちから片づけようか？」

＊甘えを受け入れることも自立心に繋がります。

「自立」と聞くとなんでも自分でできることが大切だと感じるかもしれません。確かに大切ですが、私たち人間は決して一人では生きていくことができません。そのため、幼少期に「甘えたい」「頼りたい」「助けてほしい」と子どもが思った時に、それを受け入れてもらい、実際に甘えられた、助けてもらえたという経験が必要なのです。逆説的ですが、その成功体験が子どもに安心感と信頼を与え、ぐっと自立の方向へと後押ししていきます。

おうちでできるモンテッソーリ例

全部を手伝うのではなく、自分でできそうなことがあれば自分することも大切です。「自分でできなくなってしまうのでは？」と不安に感じるかもしれませんが、助けてあげて大丈夫です。
【着替えができない】→「自分で着替えなさい」ではなく。
→「着替えができないのね。じゃあ、ママは脱がせるのをお手伝いするから、着るのは自分でやってみようか」

子どもが**「やりたい」**と思っていることを叶えていくことが大切です。それが満たされたとき子どもは、満足感や自己肯定感を育むことができます。そして、その行動と結果の積み重ねが自立心に繋がっていきます。

さあ！如何でしょうか。子供だけでなく夫婦間にも通じる事があるかも知れませんね！